

参考資料

事業者概要

事業者名	NPO法人千葉こども家庭支援センター						
所在地	千葉県千葉市中央区新宿 1-4-10 シーガル新宿 4 階						
代表者職・氏名	理事長 杉本 景子						
設立(活動開始) 年 月 日	2018 年 5 月 17 日			構成員数	4 人		
ホームページURL	https://pegasasuwing.com/freeschool-2/						
施設名	フリースクールペガサス						
施設の所在地	千葉県千葉市中央区新宿 1-4-10 シーガル新宿 4 階						
小学校在籍児童数 (内県内小学校 在籍数)	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	計
	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	2 人 (2 人)	2 人 (2 人)
中学校在籍生徒数 (内県内中学校 在籍数)	1 年生		2 年生		3 年生		計
	2 人 (2 人)		2 人 (2 人)		6 人 (6 人)		10 人 (10 人)
上記以外の 在籍者数	0 人						
パソコン及び タブ レット台数	14 台		インターネット回線		有 ・ 無		
主な活動内容 (該当する活動 に○印)	㊦ 学習支援・進路相談 イ 対人スキル・生活スキルのトレーニング ㊧ 運動・創作活動・校外活動・食育 エ 学校・家以外の居場所の提供 オ 児童生徒同士の交流(サロンなど) ㊨ 医療・心理的支援(カウンセリング、心理検査など) ㊩ 保護者等への支援(相談、親の会、講座開催など) ク その他(具体的に記載：)						
令和5年度の 主な活動実績	○ 在籍する学校の市町村等で使用している教科書に沿った学習計画を元に、欠席期間の長短を配慮しながらパソコンによる学習を中心に進めた。 ○ 日頃子どもが家庭で使用している教材や学習ワークも併用した。 ○ 教室に準備している顕微鏡、天秤などの教材教具を使って実験・観察を行った。 ○ 陶芸工房の専門家を招いてろくろを使い茶碗、ボール、皿などの作品を作った。 ○ 千葉市科学館の協力で自動車型ロボットを使ったプログラミング学習を行った。 ○ 他に技術科の教材を使ってはんだ付けの練習や図工の教材を使ってテープカッターや1枚のボードから切り出す作品作りなどを行った。 ○ 中学3年生を中心に学校での進路指導を基本にこれまでの進学実績を生かした進路相談を年間3回行った。						
令和5年度の学校 との連携の内容	○ 教室での活動を毎日記録し、毎月末にメールでその記録を在籍校に報告した。 ○ 入会したときは必ず管理職に通うことの報告をし、教室に通った日が学校の出席扱いとなるようお願いした。 ○ 公共交通機関を利用して通って来る中学生の通学定期券購入の申請書書類を概ねペガサスで作成し、学校での負担が少なくなるよう協力をした。 ○ 定期テスト等を学校で受けることが難しい子どもについては、保護者を通じて学校にお願いしてペガサスで受けること同意を得た。						
出席扱いの状況	令和5年度の出席扱いの人数			25 人			
	令和6年度の出席扱いの人数(※見込みを含む)			13 人			

備考 記載内容は令和 6 年 5 月 1 日現在

事業者概要

事業者名	NPO法人COCO.NET						
所在地	千葉県千葉市若葉区多部田町752-10						
代表者職・氏名	理事長・漆原幸子						
設立(活動開始)年月日	2020年4月(法人取得2021年5月)		構成員数	12名			
ホームページ	http://www.coconet-chiba.or.jp/						
施設名	まなびスペース COCOCARA						
施設の所在地	千葉県千葉市若葉区多部田町752-10						
小学校在籍児童数 (内県内小学校在籍数)	1年生 0人 (0人)	2年生 2人 (2人)	3年生 1人 (1人)	4年生 1人 (1人)	5年生 4人 (4人)	6年生 3人 (3人)	計 11人 (11人)
中学校在籍生徒数 (内県内中学校在籍数)	1年生 4人 (4人)		2年生 2人 (2人)		3年生 3人 (3人)		計 9人 (9人)
上記以外の 在籍者数	0人						
パソコン及び タブレット台数	6台		インターネット回線		有・無		
主な活動内容 (該当する活動に ○印)	㊦ 学習支援・進路相談 ㊦ 対人スキル・生活スキルのトレーニング ㊦ 運動・創作活動・校外活動・食育 ㊦ 学校・家以外の居場所の提供 ㊦ 児童生徒同士の交流(サロンなど) ㊦ 医療・心理的支援(カウンセリング、心理検査など) ㊦ 保護者等への支援(相談、親の会、講座開催など) ㊦ その他(具体的に記載：企業とのコラボ授業、他NPO法人とのイベント)						
令和5年度の 主な活動実績	令和5年度は、千葉市若葉区にある学舎での活動と、キャンプ場での他NPO法人との合同イベントを合わせ、月・水・金の週3回程開催した。通学者は主に千葉市、2名は茂原市からとなっている。在籍者のうち小学3年生～中学3年生までのおよそ10名程度が毎回コンスタントに通学しており、年間の延べ利用者数は805人を計上した。活動時間は10時～15時(16時まで放課後)で、1日のスケジュールは朝のサークル、異年齢での同時学習、個別進度学習、自由活動、終わりのサークルで構成されている。午前中は「まなびプログラム」として、算数(週2回)、国語(月1回)、理科実験(月1回)、防災教育(年3回)、スポット学習として社会(歴史、地理)、英語を行った。 算数と国語については、子ども自身が自分のやりたい範囲や興味関心のある内容について学ぶことができる「プライベートレッスン(予約制による講師とのマンツーマン体制)」という独自のシステムを作って、個別進度学習を実施した。子ども達には、「学習を無理強いしないこと」、「困ったときには親切にすること」、						

	「傷つくことはしない(馬鹿にしたり、からかったりしない)こと」を事前にスタッフが約束した上で、参加してもらっている。子どもが周りの大人から親切にされ、自分が慮られているとわかるようになると、安心して活動にのってることができるようになり、子ども同士が相手にやさしく、相手をもまた慮ることができるようになってくるといった社会性が育ち、共同体としての育ちと学びの場が醸成されていくことを経験した。 午後からは「自由活動」と称し、子ども達と一緒に遊んだり、ものづくりをしたり、ピアノや音楽を体験したり、本を読んだり、ゲームをしたりするなど、子どもの主体的で創造的な活動を最大限保障してきた。この時間は殊に重要であり、心に傷つき経験のある子どもでも遊びを通しては場になじみやすく、心理的回復のプロセスを辿りやすくなる。子ども本来の情熱が沸き起こる活動となり、自分が何をやりたいか、何が好きか、何をしようかと自分育てに寄与する時間となっている。 また、月1回のキャンプ場でのイベント活動においては、子ども達がブース(お店)を企画して出店し、クラフトや工作、おやつや飲み物を提供するなど、他者との協働的な活動を経験する機会を設けた。企業の協力による特別プログラムも設け、株式会社Pro vision 様により「AR/VR 体験授業」、株式会社 River Mountain 様により「お金の授業」を実施した。お金の授業は、子どものひとりが「お金の授業をやりたい」という発言から実施に至った企画であり、他 NPO 法人とのコラボ授業という形で授業を実現することができ、実際にお金を扱ってみる経験として、子ども達の出店に予算をつけていただき、令和6年4月20日にマルシェデビューを経験するなど、学年全体で年単位に渡って取り組む学習へとつながっている。 年度末となる3月には、子ども達主体で企画、準備、実施まで手がける発表会が行われ、令和5年度はレストランを借り切って、自作のクイズ大会、マインクラフト発表、動画制作発表、ピアノ発表、合唱などを行った。その他、遠足、宿泊学習、地域交流、梅シロップ仕込みや味噌づくりといった保護者を交えての手仕事などを毎年実施している。これらの活動は、令和5年5月放送のNHK番組「きみの声が聴きたい」、令和6年1月放送のNHKスペシャル「公教育を考える」において取り上げられ、不登校の子どものネガティブなイメージが払拭され、公教育以外の場で育つ子ども達が主体的で生き生きと過ごす姿印象的であったとの反響が大きかった。
令和5年度の学校との連携の内容	月の出席報告において、当フリースクールでは、出席日数および活動内容を保護者にデータとして送り、保護者から学校に提出していただく方法を取っている。フリースクールは、在籍する子どもに対しての責任を負っているのであり、子ども、保護者の預かり知らないところでフリースクールと学校が勝手に情報をやりとりしないことを当フリースクールは原則としている。そのため、書面については保護者がかねらず目を通したものを学校に提出していただく方法を取っている。また、報告書とは別に、学校長の視察の受け入れ、担任との ZOOM 会議、メールでのやりとりを行った。ギガタブをフリースクールに持ち込み、担任やクラスルームとつないで、フリースクールの様子を見てもらいながら担任の先生と近況について話すといった試みも2例ある。その際は、子どもがオンラインであれ学校とのコンタクトを嫌がっていないこと、双方の教育活動の妨げにならない時間であること(ランチ時間など)に留意して取り組んだ。

出席扱いの状況	令和５年度の出席扱いの人数 11 人 (連携を取りたくない、取る必要性がないと考えている家庭もある) 令和６年度の出席扱いの人数(※見込みを含む) 11 人 (連携を取りたくない、取る必要性がないと考えている家庭もある)
---------	---

備考 記載内容は令和６年５月１日現在

事業者概要

事業者名	特定非営利活動法人 Free International School						
所在地	千葉県船橋市宮本6－4－1						
代表者職・氏名	理事長 青沼弥幸						
設立(活動開始)年月日	2021年9月1日			構成員数	5人		
ホームページ	https://free-is.org/grade/						
施設名	特定非営利活動法人 Free International School						
施設の所在地	千葉県船橋市宮本6－4－1						
小学校在籍児童数 (内県内小学校 在籍数)	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
	1人 (1人)	0人 (0人)	2人 (2人)	2人 (2人)	2人 (2人)	2人 (2人)	9人 (9人)
中学校在籍生徒数 (内県内中学校 在籍数)	1年生		2年生		3年生		計
	0人 (0人)		0人 (0人)		0人 (0人)		0人 (0人)
上記以外の 在籍者数	0人						
パソコン及び タブレット台数	5台		インターネット回線		有・無		
主な活動内容 (該当する活動に ○印)	㊦ 学習支援・進路相談 ㊦ 対人スキル・生活スキルのトレーニング ㊦ 運動・創作活動・校外活動・食育 ㊦ 学校・家以外の居場所の提供 ㊦ 児童生徒同士の交流(サロンなど) ㊦ 医療・心理的支援(カウンセリング、心理検査など) ㊦ 保護者等への支援(相談、親の会、講座開催など) ク その他(具体的に記載：)						
令和5年度の 主な活動実績	週5スクール稼働(8:30～15:00)学習指導要領に基づいたオリジナルカリキュラムの実施 国語(日本語の学び、文字)、算数(どんぐり算数)、社会(地域、歴史、テーマアクティビティ)、理科(実験クラス)、音楽、図画工作、家庭、体育(公園遊び)、道徳(ディスカッション)、外国語、生活、総合的な学習、特別活動						
令和5年度の学校 との連携の内容	活動内容の共有、出席報告 スクールの概要と実施内容、出席振替の実績などについてもご案内、地元小学校が必要としている情報の提供(出席日数や地元小学校が求めている情報などの共有)						
出席扱いの状況	令和5年度の出席扱いの人数				8人		
	令和6年度の出席扱いの人数(※見込みを含む)				10人		

備考 記載内容は、令和6年5月1日現在。

事業者概要

事業者名	Study Base						
所在地	千葉県茂原市小林 3 1 3 6-7						
代表者職・氏名	代表 中尾 光						
設立(活動開始) 年 月 日	2023 年 6 月 1 日		構成員数	5 名			
ホームページ URL	https://studybase2023.com/						
施設名	Study Base 茂原						
施設の所在地	千葉県茂原市小林 3 1 3 6-7						
小学校在籍児童数 (内県内小学校 在籍数)	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	計
	0 人 (0 人)	2 人 (2 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	1 人 (1 人)	1 人 (1 人)	4 人 (4 人)
中学校在籍生徒数 (内県内中学校 在籍数)	1 年生		2 年生		3 年生		計
	0 人 (0 人)		1 人 (1 人)		1 人 (1 人)		2 人 (2 人)
上記以外の 在籍者数	0 人						
パソコン及び タブレット台数	4 台		インターネット回線		有 ・ 無		
主な活動内容 (該当する活動に ○印)	㊦ 学習支援・進路相談 ㊦ 対人スキル・生活スキルのトレーニング ㊦ 運動・創作活動・校外活動・食育 ㊦ 学校・家以外の居場所の提供 ㊦ 児童生徒同士の交流(サロンなど) カ 医療・心理的支援(カウンセリング、心理検査など) ㊦ 保護者等への支援(相談、親の会、講座開催など) ク その他(具体的に記載：)						
令和 5 年度の 主な活動実績	週 3 日、学習と体験を中心とする活動を実施。学習は、それぞれの進度に合わせて指導。タブレットを用いた、映像学習も活用。海や山での自然体験や探究学習を実施。そのアウトプットの場としてマルシェを開催し、200 名の来場者へ接客を体験。保護者の交流の機会ともなった。また、赤ちゃんから参加できるイベントを多数開催し、気軽に子育ての相談ができる関係づくりにも力を入れた。						
令和 5 年度の学校 との連携の内容	弊団体へ通う不登校児童・生徒のすべての学校と連携をし、担任や生徒指導担当、管理職との面談を実施した。毎月末、報告書にて状況報告も行っている。茂原市教育委員会とも連携をし、施設見学と意見交換をした。また、学年末に学校へ付き添い登校し、登校できた成功体験から学校復帰できた児童もいる。						
出席扱いの状況	令和 5 年度の出席扱いの人数				2 人		
	令和 6 年度の出席扱いの人数(※見込みを含む)				4 人		

備考 記載内容は令和 6 年 5 月 1 日現在

事業者概要

事業者名	一般社団法人 YUME						
所在地	東京都町田市原町田 1-3-6						
代表者職・氏名	代表理事 新美順康						
設立(活動開始) 年 月 日		構成員数		30 名			
ホームページ	https://school.yume.support/kisarazu/						
施設名	YUME School 木更津						
施設の所在地	〒292-0805 千葉県木更津市大和 1-8-6 モリビル 2F						
小学校在籍児童数 (内県内小学校 在籍数)	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	計
	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	2 人 (2 人)	0 人 (0 人)	2 人 (2 人)	4 人 (4 人)	8 人 (8 人)
中学校在籍生徒数 (内県内中学校 在籍数)	1 年生		2 年生		3 年生		計
	0 人 (0 人)		2 人 (2 人)		2 人 (2 人)		4 人 (4 人)
上記以外の 在籍者数	11 人						
パソコン及び タブ レット台数	6 台		インターネット回線		○有 ・ 無		
主な活動内容 (該当する活動に ○印)	㊦ 学習支援・進路相談 ㊦ 対人スキル・生活スキルのトレーニング ㊦ 運動・創作活動・校外活動・食育 ㊦ 学校・家以外の居場所の提供 ㊦ 児童生徒同士の交流(サロンなど) ㊦ 医療・心理的支援(カウンセリング、心理検査など) ㊦ 保護者等への支援(相談、親の会、講座開催など) ク その他(具体的に記載：)						
令和 5 年度の 主な活動実績	体育授業・調理実習(月 1 回)プログラミング教室での授業(月 2 回) 校外学習(千葉市科学館見学、クロネコヤマトミュージアム、八天堂工場見学、 潮干狩り、ブルーベリー狩り、いちご狩り、野菜収穫体験) YUME School 全 6 校舎 オンライン合同イベント 中高生向け性教育の講話(外部講師 命育、まるた ART クリニック)						
令和 5 年度の学校 との連携の内容	出席状況報告書送付(月 1 回) 心理士による発達検査(WISC-IV)のフィードバック						
出席扱いの状況	令和 5 年度の出席扱いの人数				21 人		
	令和 6 年度の出席扱いの人数(※見込みを含む)				12 人		

備考 記載内容は令和 6 年 5 月 1 日現在